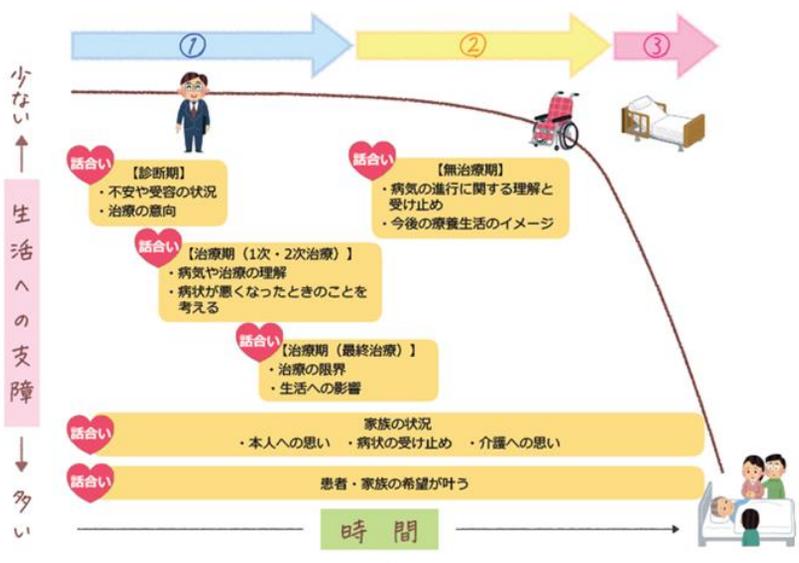




認定看護師News vol.6

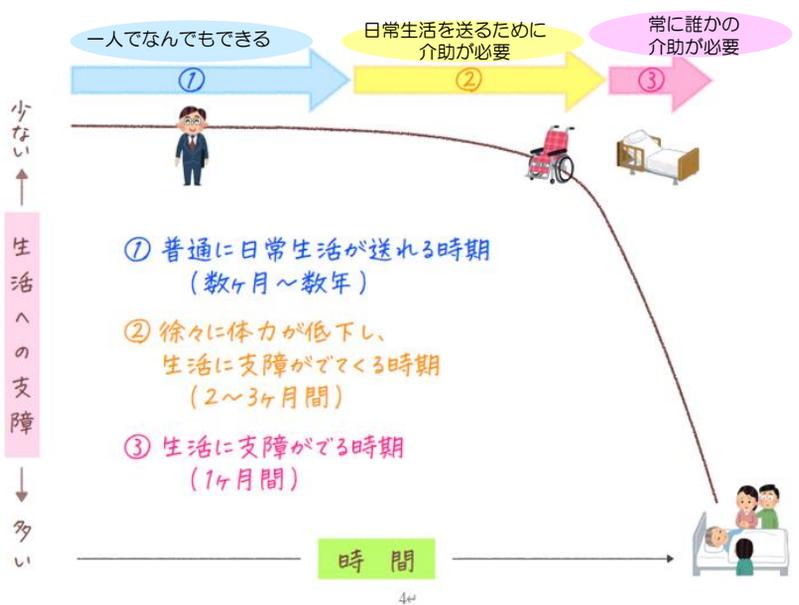
がん患者さん・ご家族に、これから起こるかもしれない体調の変化を伝えることは、ACP（Advance Care Planning）を話し合うきっかけとなります。京都府では、がん患者さん・ご家族とACPをともに考えていくために「病気の経過とこれからのこと」というパンフレットを作成しましたので、これを活用して全人的に患者を捉え、ケアに活かさせていただければと思います、一部紹介します。

病気の経過とこれからのことの話合い



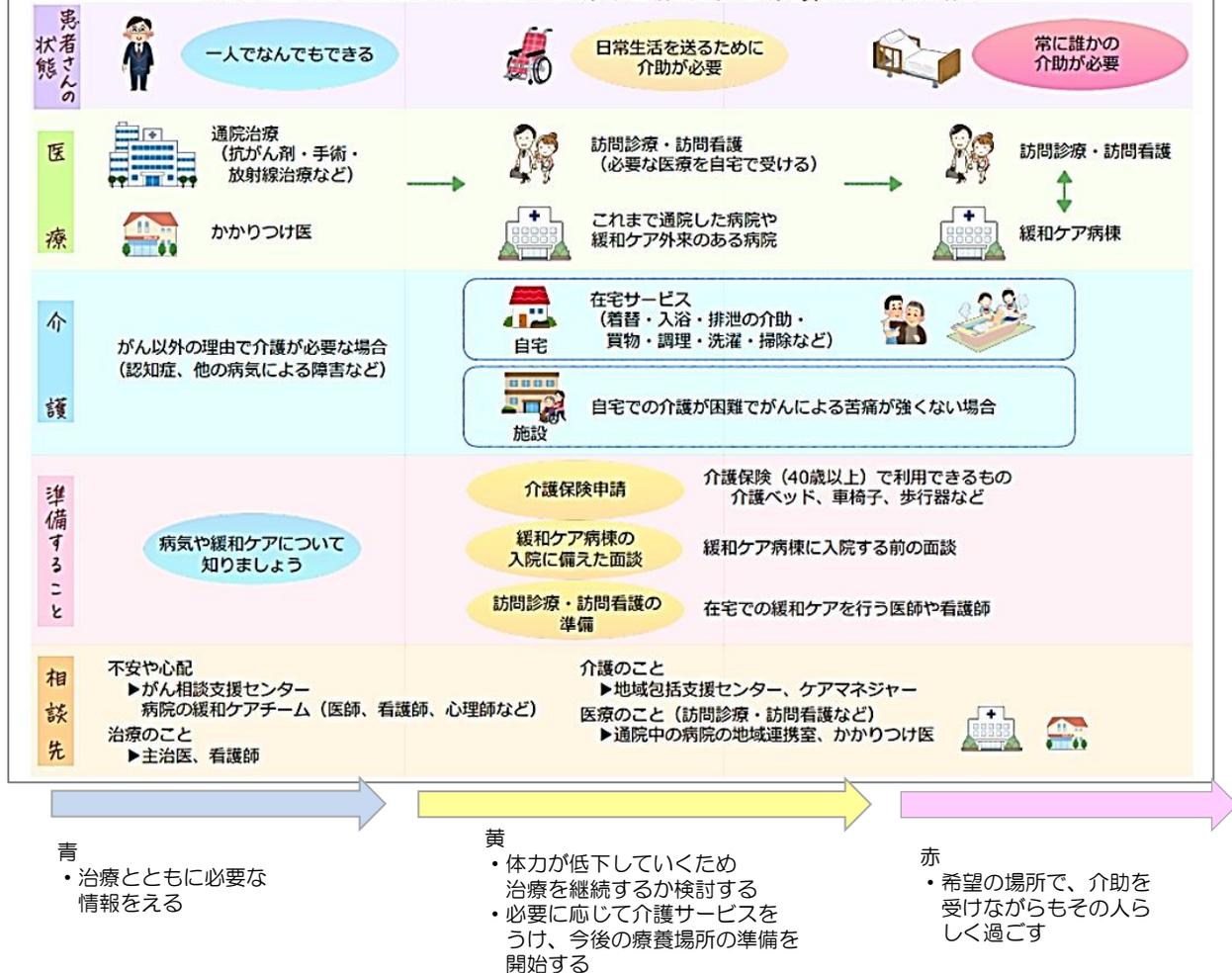
- ACPについて話し合う時期や内容など例が記載されています。
- 患者・家族とともにどの時期に何を話し合うことがいいか、検討しましょう。

がんの病状の変化について



- がんの病状が、どの時期にあるのかを示した図です。医師が説明する時などに活用しましょう。
- 患者さんやご家族はイメージ化しやすいと言われています。

病状に合わせて利用できる医療支援体制・療養生活支援サービス



医師とともに患者さんがどの時期あるのか把握し、先を見据えたケアを心掛け、ACPを行い、患者の意思に沿えるよう、このパンフレットを活用していただければ、うれしく思います。

京都府がん医療戦略推進会議 外来化学療法部会・緩和ケア部会作成資料
「病気の経過とこれからのこと」(略称：道しるべ)



「病気の経過とこれからのこと」は左記のQRコードで見ることができます。ぜひ参照ください。